

みんなの活動を学びあって、世の中を変えよう！

全国・世界では、多くの若者が持続可能な地域や社会を実現するため、いろいろな社会の問題に向き合っています。

それを応援したり、表彰したりする取組もたくさんあります。今回はその一部を紹介します。

ぜひ、ここで取り上げられている取組などを参考に、自分たちができることも考えてみてください。また、自分たちでも活動を始めて、応募してみてください！

※応募にあたっては、最新の情報を各WEBサイトやお問合せ先にてご確認ください。



第27回 コカ・コーラ環境教育賞

2021年度募集／2021年11月1日～12月15日 発表／2022年2月26日

(2022年度の募集に関しては、コカ・コーラ教育・環境財団のホームページにて発表予定)

対象者／活動普及部門：小中学生およびその指導者

企画・研究推進部門：高校生、高専生、大学生、大学院生およびそれら学生を活動主体とする非営利団体

環境保全・環境教育に関する顕著な活動への顕彰、および環境保全・環境啓発・環境美化に寄与する新しい企画への支援をおこなうことを目的とした公募型の賞です。2部門あり、それぞれに設定された「テーマ」に対応した活動を行っている団体・個人を募集します。

主催者からのメッセージ

「活動普及部門」は、環境関連のテーマに関連した課題の解決に向けた取組を行う小中学生およびその指導者を、「企画・研究推進部門」は、環境関連のテーマに関連した課題の解決に寄与する新しい企画・仕組みについての提案・研究・活動を行う学生や団体を対象としており、受賞者の表彰・支援を通して将来的に地球環境・環境資源・環境教育に役立つことを目指しています。

【主催】公益財団法人コカ・コーラ教育・環境財団
【活動紹介サイト】<https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/index.html>
<https://www.cocacola-zaidan.jp/environment/env-prize/>

【第27回コカ・コーラ環境教育賞 最優秀賞・優秀賞・大臣賞】

【活動普及部門(小学生) 最優秀賞】
浜中町立散布小中学校 (北海道厚岸郡)
【活動普及部門(中学生) 最優秀賞・文部科学大臣賞】
只見町立只見中学校 (福島県南会津郡)
【企画・研究推進部門 最優秀賞・環境大臣賞】
中標津農業高等学校 肉加工研究班 (北海道標津郡)



海ごみゼロアワード

応募期間／本年度の開催は未定(決定次第HPで発表)

対象者／企業、研究機関、NPO・NGO、自治体等

海洋プラスチックごみ対策を目的として、「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」を推進する日本財団と、「プラスチック・スマート」キャンペーンを推進する環境省が共同して全国から優れた取組を募集・選定し、受賞者には表彰に加え、活動奨励金の授与、紹介動画やウェブサイトへの掲載による活動の周知をいたします。

主催者からのメッセージ

近年、海洋ごみによる海洋環境の汚染、人々の生活・健康への影響が危惧されています。本アワードは、国内における海洋ごみ対策の優れた活動や研究、技術等を発掘し、広く発信することを目的とし、日本のモデル事例として世界に発信します。2021年度は276件の応募がありました。

【過去の受賞例】

2021年度 最優秀賞：Blue Earth High School (兵庫県)「Blue Earth Project」女子高生が運営するエコ啓発プロジェクト。15年間で全国・海外併せて19ヶ所に1000人以上の女子高生が参加し、飲食店で海洋ごみ削減を伝えるキャンペーンや、エコ啓発イベントを企画・実施している。



【共催】日本財団、環境省 【活動紹介サイト】https://uminohi.jp/umigomizero_award2021/

ソフトバンクロボティクス株式会社が開催する Pepperのプログラミングコンテスト「STREAMチャレンジ」

応募期間／検討中

対象者／Pepperでプログラミングを学んでいる人

「Society 5.0」で実現されようとしているロボットと共生する社会の現実化、SDGsへの貢献を目指して、自ら発見した社会課題を、ソフトバンクロボティクスの人型ロボットPepperを活用したクリエイティブな発想で解決することを目指すプログラミングコンテストです。過去には、ごみ問題・労働力不足・待機児童・地方創生など様々な課題を解決するアイデアの応募がありました。全国大会の様子はオンラインで配信しています。

主催者からのメッセージ

本イベントでは、応募作品を審査し、全国大会に出場するチームに対して、第一線で活躍する様々な業種や職種の有識者が評価し、フィードバックを行います。これにより社会実装に必要な気づきを得て、困難を乗り越える力をつけ、実社会に出て大きく羽ばたいていくきっかけを提供します。

※開催内容は変更の可能性あります。

【主催】ソフトバンクロボティクス株式会社
【活動紹介サイト】<https://www.softbankrobotics.com/jp/event/stream2022/>
【お問い合わせ】<https://onl1a/UrSabaj>

【受賞例】

2021年3月に、「STREAMチャレンジ2021」全国大会を開催。最優秀賞は、武雄市立橋小学校「Pepperと一緒にごみ拾い大作戦」。



© SoftBank Robotics



エフピコ環境基金

応募期間／2022年10月1日～12月中旬予定(2023年度分)

対象者／環境問題に対して活動している団体

近年の地球規模の環境問題に対して、環境保全活動、環境教育・研究、「食」課題解決・「食」支援に関わる活動を行なっている団体を対象に、200万円/年を上限に助成を行なっています。単年度助成のほか、1年を超える助成申請も可能(最長3年)。申請された活動内容・予算内容を精査の上、助成可否及び助成金額を決定いたします。

主催者からのメッセージ

海洋プラスチックごみ問題及び気候変動をはじめとする環境問題を解決するためには、各企業・団体が丸ごとで対処すべきと考え、2020年3月にエフピコ環境基金を創設致しました。当基金による助成を通じて、持続可能な循環型社会の実現に貢献する地域活動の促進・拡充を目指しています。

【共催】エフピコ環境基金
【活動紹介サイト】
エフピコ環境基金／<https://www.fpc.jp/esg/environmentaleffort/environmentalfund.html>
募集につきましては毎年HPから行っています。募集期間になりましたら、上記サイトで案内いたします。
エスピコ方式のリサイクル／https://www.fpc.jp/esg/environmentaleffort/fpc_recycle/

【助成先活動例】



NPO法人 荒川クリーンエイド・フォーラム (東京都)：海洋ごみ問題解決のための荒川の清掃体験教育
NPO法人 ナなさと(埼玉県)：間伐材等のリサイクル活動等への障がい者参画支援
NPO法人 チャウス(群馬県)：サケの遡上、放流を通じた環境保全・教育活動
NPO法人 ビーブルズコミュニティ(岐阜県)：木曾川のごみ回収・実態調査と啓発活動

【お問い合わせ】エフピコ環境基金 03-5325-7809

小中学生の起業アイデアコンテスト「Kyotoアントレプレナーチャレンジ」

応募締切／2022年6月の予定(詳細はHPで)

対象者／京都府内在住、または京都府内の学校に通う小・中学生

身近な問題の解決に貢献できる事業アイデアや京都の良さを生かした新しい製品・サービス等の提案を募り、それを一緒に形にすることで、アントレプレナーシップ(起業家精神)の育成を奨励するものです。書類・面接を経て選ばれた事業を表彰するとともに、実施に必要な経費を補助(最高10万円)します。また、希望や必要に応じて助言者や支援者を紹介し、提案事業を実現するお手伝いをします。

主催者からのメッセージ

未来を生きるみなさんの“こんなあるといいな”の実現をお手伝いすることで、「新しい未来を切り開く力」や「社会を変える事業を起こす力」を伸ばしてもらうことを目的としています。興味ある方はホームページで詳細を見て、応募ください。

【昨年度の参加者】

100%地産地消の食材で通ったハンバーガーを販売(伊根町立本庄小学校6年生)



【主催】特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
【活動紹介サイト】Kyotoアントレプレナーチャレンジ <https://entreplanet.org/KEC/>
【お問い合わせ】特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター 075-468-8907

第三回 京都大学中高生 SDGsリーダーズ育成プログラム

参加者募集期間／2022年5月上旬

活動期間／(予定)2022年6月～2023年3月

対象者／全国の中高生(中3～高2) 定員／約50名

社会問題を統合的な解決へと導くため、学校や地域において実践的な活動を牽引するリーダーの育成を目的としたプログラム。持続可能なコミュニティや社会の創出をテーマに、隔週のオンラインゼミや夏休み中の合宿、実地研修や企業訪問を経て、最終発表を行います。

主催者からのメッセージ

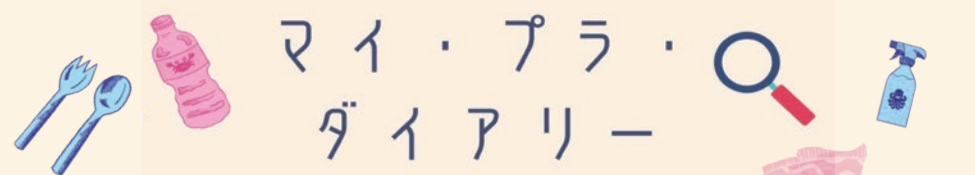
専門家や大学生・修了生メンター、地域の方々と交流により、個性を活かしたリーダー像の形成や資質向上に加え、机上の議論に留まらない展開を目指します。SDGsや社会課題の解決に挑戦しようという人同士が互いの想いを交わすことで、活動を共有しあえるコミュニティづくりのきっかけにもなるプログラムです。

【主催】京都大学
【共催】京都超SDGsコンソーシアム、エコー都市京大、京都府立北桑田高校、京都市立京北中学校ほか



【実施実績】

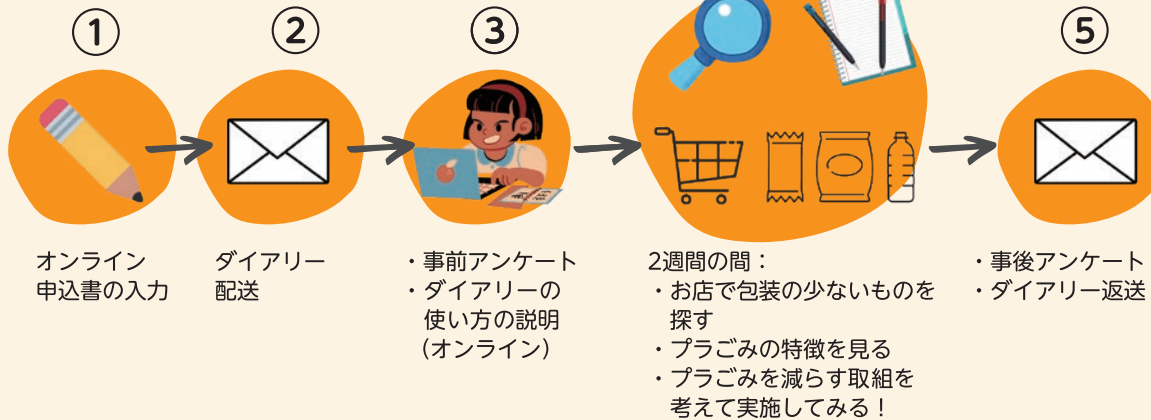
2021年度第2回プログラムには、全国から約60名が参加。[SDGsの視点で日本が抱える里山の課題を知り、京都・京北を訪れ、持続可能な未来を考える]をテーマに、京都市京北地域での合宿や、茅刈り実習なども実施し、15グループがユニークな成果発表を実施。



わたしたちの身の回りにはプラスチックがあふれています。便利な素材のため、さまざまな形や大きさのものを作ることができます。しかし、自然環境の中では何十年、何百年以上も残ってしまうことから、川や海に流れ出したプラスチックごみが大きな問題となっており、近い未来には、海の中にプラスチックが魚よりも多くなると言われています。

みなさん、3Rのメカネをかけながら、プラスチックとのかしこい付き合い方を考えてみませんか？ぜひこのワークショップに参加して、「プラスチック・エコ博士」になりましょう！このプログラムでは、プラスチックについてくわしく学ぶオンラインの授業を受け、2週間の間プラスチックごみの日記と買い物のお店調査を行い、プラごみを減らすための取組を考えていきます。

プログラムの日程：ワークブック到着後、2週間
プログラムの流れ



興味がある人、このQRコードを使って保護者の方と一緒に申し込んでください！

【保護者の方へ】

本プログラムは、京都大学大学院地球環境学・浅利美鈴研究室の研究の一環として行うものです。環境教育ツールとしてのダイアリー記録に焦点を当てております。取得したデータや個人情報は、個人を紐づけて無断で公開することや、研究目的以外に使用することはありません。



びっくりエコ発電所活動レポート

京都市市民協同発電 2021 年度発電実績

京都市市民協同発電の取組ですが、当団体は5ヶ所の施設で行っております。2021年4月から2022年1月までで予測発電量に達しなかったのは、5月・8月・9月です。また4月から1月までの予測発電量に対しては106.9%で、例年に比べて低調ですが予測発電量よりは順調に推移しています。引き続き、施設の発電状況をモニタリングし、事業の安定的な運用をしてまいります。

DO YOU KYOTO?

環境にいいことをしていますか？

